



平和学習特集号

沖縄戦後77年 ～平和について一緒に考えよう～

南風原小・津嘉山小・北丘小・翔南小・南風原中・南星中でお話ししてくださった皆さんありがとうございました。

町内4小学校では、戦争体験者を講師にむかえご自身の体験をお話いただきました。県外疎開や沖縄本島での体験など、戦中戦後の経験は様々ですが「命の尊さ」「平和の大切さ」を伝える想いや願いは共通しています。

「戦後77年と時間は経過しても、あの時見た光景や想いは一生忘れられない」という言葉の重みを感じました。未来を担う子供たちへ「命どう宝」をしっかりと胸に刻み、「自分にできること」を考え、行動できる人になってほしいと切に願います。



学童疎開講話（宮崎県）
金城 シズ子さん（字津嘉山）
平良 次子さん（学芸員）



一般疎開講話（宮崎県）
赤嶺 松栄さん（字官平）



学童疎開講話（熊本県）
金城 安清さん（字神里）
平良 次子さん（学芸員）



戦争体験者講話
大城 敏雄さん（字照屋）



戦争体験者講話
大城 スミ子さん（字官平）
辺土名 未希先生（5学年）

南風原平和ガイドの会



金城 美根子さん



斉藤 光枝さん

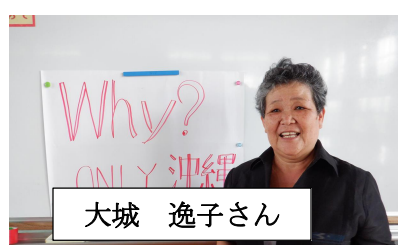


宮川 光世さん

平和ガイドが戦争絵本読み聞かせや陸軍病院20号壕と喜屋武の話、復帰50年の世代わりについて語り、初めて知る内容に児童生徒も教師も熱心に聞き入っていました。



安座間 喜順さん



大城 逸子さん

平和朗読「首里」（那覇市立首里公民館サークル）



小学校4校の2年、3年生で戦争絵本朗読と沖縄戦、慰霊の日の話を聞いた児童から「ゆずる心を忘れなければ戦争は起こらない」と感想がありました。

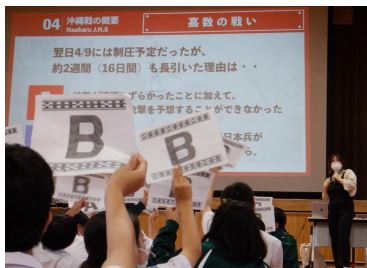
南風原中学校1年生では、絵本「つるちゃん」が作られた時代背景や作者の思いを語り、箏の生演奏が物語の世界観を広げ生徒を魅了しました。



「その時、あなたならどうしますか？」戦時下の沖縄で実際に起こった事柄から行動を選び、体験者の声を聞き、ロールプレイ「戦争を作ってみよう」を通して、本当の平和を作るには何をすべきか考えました。



平和教育ファシリテーター 狩俣 日姫さん



沖縄戦ワークショップ
南風原中・南星中



津嘉山が語る
沖縄戦
平良 次子さん

校区に残る戦争遺跡と人々の苦労を学んだ児童から、「戦争を起こさない様にするにはどうすれば良いかを考えるために、僕はもっと勉強したい」との声がありました。



前城 菜美子さん

南風原で発掘された遺骨の写真と遺物を見て、現在も残る不発弾問題を考え、今も続く戦争の課題について学びました。

文化センター学芸員講話



～編集後記～

今年度も、戦争体験者や地域の方々が講師となり、多様な平和学習ができました。感謝申し上げます。（コーディネーター：仲里）



放課後子ども教室

わくわく広場（南風原小）では映画鑑賞会を行いました。



地域の子どもをみんなで一緒に育てましょう！
できる人が・できることを・できるときに



学校ボランティア募集中